

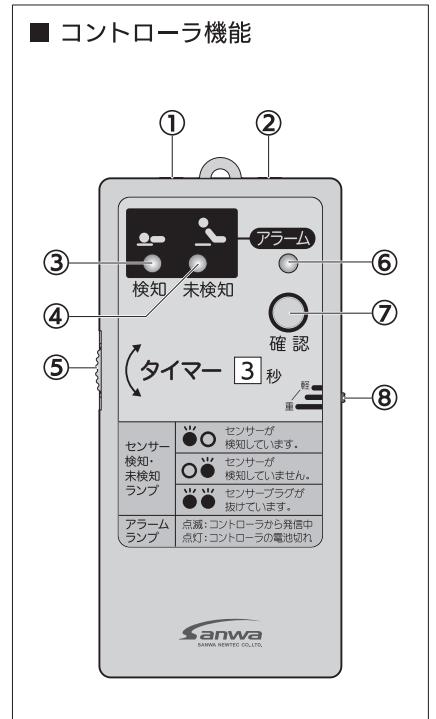
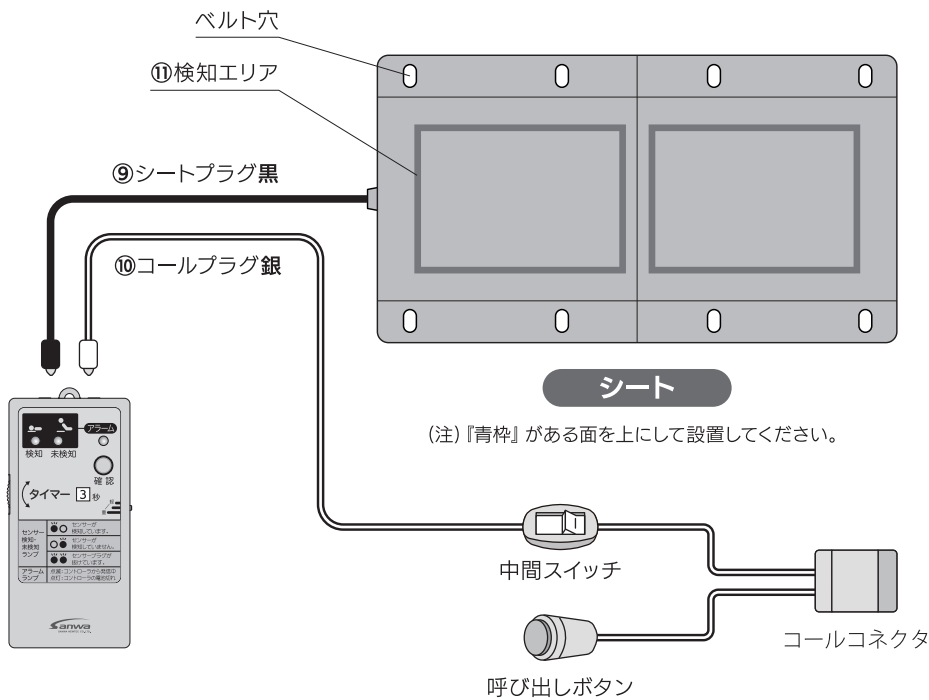
# 取扱説明書

この度は「離床センサー」をお買い求めいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。

## 病院・介護施設用 離床センサー

### マットレス専用 有線タイプ SS-101

## 1. 各部名称とはたらき



### コントローラ

### コールケーブルセット

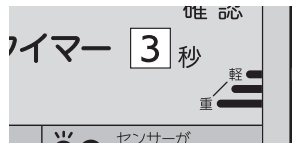
①シートジャック	・シートプラグ黒(⑨)を差し込みます。	⑥電源/アラームランプ(赤)	・1秒間点滅しているとき →検知から未検知を検出し、ナースコールなどへ報知しています。 →検知状態でシートプラグが抜けました。
②コールジャック	・コールプラグ銀(⑩)を差し込みます。		・点灯しているとき →コントローラの電池が切れています。
③検知ランプ(緑)	・点滅しているとき →シート上に荷重がかかっています。(検知中です) ・未検知ランプと交互に点滅しているとき →シートプラグが抜けています。	⑦確認ボタン	・シートとの接続状態及び電池寿命を確認します。 ・アラームを解除します。
④未検知ランプ(橙)	・点滅しているとき →シート上に荷重がかかっていません。(未検知です) ・検知ランプと交互に点滅しているとき →シートプラグが抜けています。	⑧検知レベル設定スイッチ	・スイッチを上側(軽)に設定してご使用ください。 ご使用条件により設定が必要な場合は、 【2.操作手順】の5項を参照ください。
⑤検出タイマーダイヤル	・検知中、利用者がシートから離れて報知するまでの時間を0~15秒で設定できます。 (初期設定: 3秒)	⑨シートプラグ黒	・コントローラのシートジャック(①)に差し込みます。
		⑩コールプラグ銀	・コントローラのコールジャック(②)に差し込みます。
		⑪検知エリア	・検知、未検知を判定するエリアです。利用者がエリア内になるように設置してください。

## 2. 操作手順

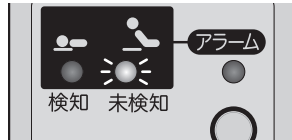
### 【1. 準備する】

①シートは青い検知エリアが表示されている面を上にし、検知エリアが利用者の背中に来るように設置してください。

②シートをベッドに設置後、コントローラの検出タイマーを『3』設定し、検知レベル設定スイッチを上側（軽）に合わせてください。



③シートプラグ黒をシートジャックに差し込むと、未検知ランプ（橙）が点滅します。



※未検知ランプ（橙）が点滅しない場合  
検知レベル設定スイッチを一つ（中の方へ）下げてください。一番下の『重』に設定しても未検知ランプ（橙）が点滅しない場合は、もう一度シートの設置をやり直してください。

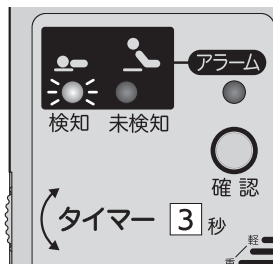
④コールプラグ銀をコールジャックに差し込みます。

準備完了

### 【2. 設定する】

①利用者がベッドに横になった時に、検知ランプ（緑）が点滅することを確認してください。

②検出タイマーの値を3秒に設定してください。設定の詳細については、別紙“コントローラ設定マニュアル”を参照してください。



設定完了

### 【3. 利用者が離床したとき】

①利用者がベッドから起き上がると、アラームランプ（赤）が1秒間点滅します。また、ナースコール等へ報知します。



### 【4. シートプラグ黒が外れたとき】

①シートプラグ黒がコントローラから外れると、アラームランプ（赤）が1秒間点滅し、検知ランプ（緑）と未検知ランプ（橙）が約40秒間交互に点滅します。また、ナースコール等へ報知します。



②検知ランプ（緑）と未検知ランプ（橙）が点滅中に確認ボタンを押すと、ランプが消灯します。

### 【5. 検知レベル設定スイッチについて】

ご使用の際はスイッチを上側（軽）に設定してご使用ください。但し、例のような使用条件により上記設定で動作しない場合は適切な検知レベルに設定してご使用ください。

例1

センサーを設置後、利用者がシート上に乗る前に検知ランプ（緑）が点滅する場合  
→スイッチを真ん中（中）に設定してください。

## 3. 安全にお使いいただくために

### 【製品の取扱いについて】

以下の様な取り扱いをしないでください。機器の故障につながる恐れがあります。

- 本機を落下させたり、強い振動や衝撃を与えたりしないでください。
- 各プラグはコントローラのジャックに確実に差し込んでください。
- 本機の操作、メンテナンス時に無理な力での取り扱いは行わないでください。
- 水気のある場所を避けて設置してください。

### 【異常時の対処について】

使用中に煙が出る、異臭がするなどの異常に気付いた場合、また、機器内部に液体をこぼしたり、金属などの異物が入った場合には直ちに電池を取り外してください。そのまま放置すると、火災等の恐れがあります。

### 【お手入れ】

水や中性洗剤をしみ込ませたきれいな柔らかい布などを固く絞って使用してください。コードが出ている部分及び、その周辺は水分等が入らないように注意してください。液体洗剤等及び、エアゾール洗剤を使用しないでください。

※本商品はセンサーの反応を通知する報知連絡用装置であり、医療機器ではありません。また、転倒・転落事故の防止を保証するものではありません。介護などの補助手段としてご使用ください。万一発生した人身事故、災害事故等による損害につきまして弊社は一切責任を負いません。

お問い合わせ・ご相談は下記の窓口へどうぞ

開発・製造元

ISO 9001 取得(開発技術センター、国富工場)  
ISO 14001 取得(開発技術センター、国富工場)

S.M.C.グループ  
SANWA NEWTEC CO.,LTD.

三和ニューテック株式会社

東日本営業所 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-1 VORT九段下7F  
☎ (03) 3265-3431(代表) FAX (03) 3265-3588

西日本営業所 〒530-0047 大阪府北区西天満5-1-1 セヤマビル7F  
☎ (06) 4709-7007(代表) FAX (06) 4709-7008

九州営業所 〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴3-1-22 Sビル5F  
☎ (092) 738-8411(代表) FAX (092) 738-8423

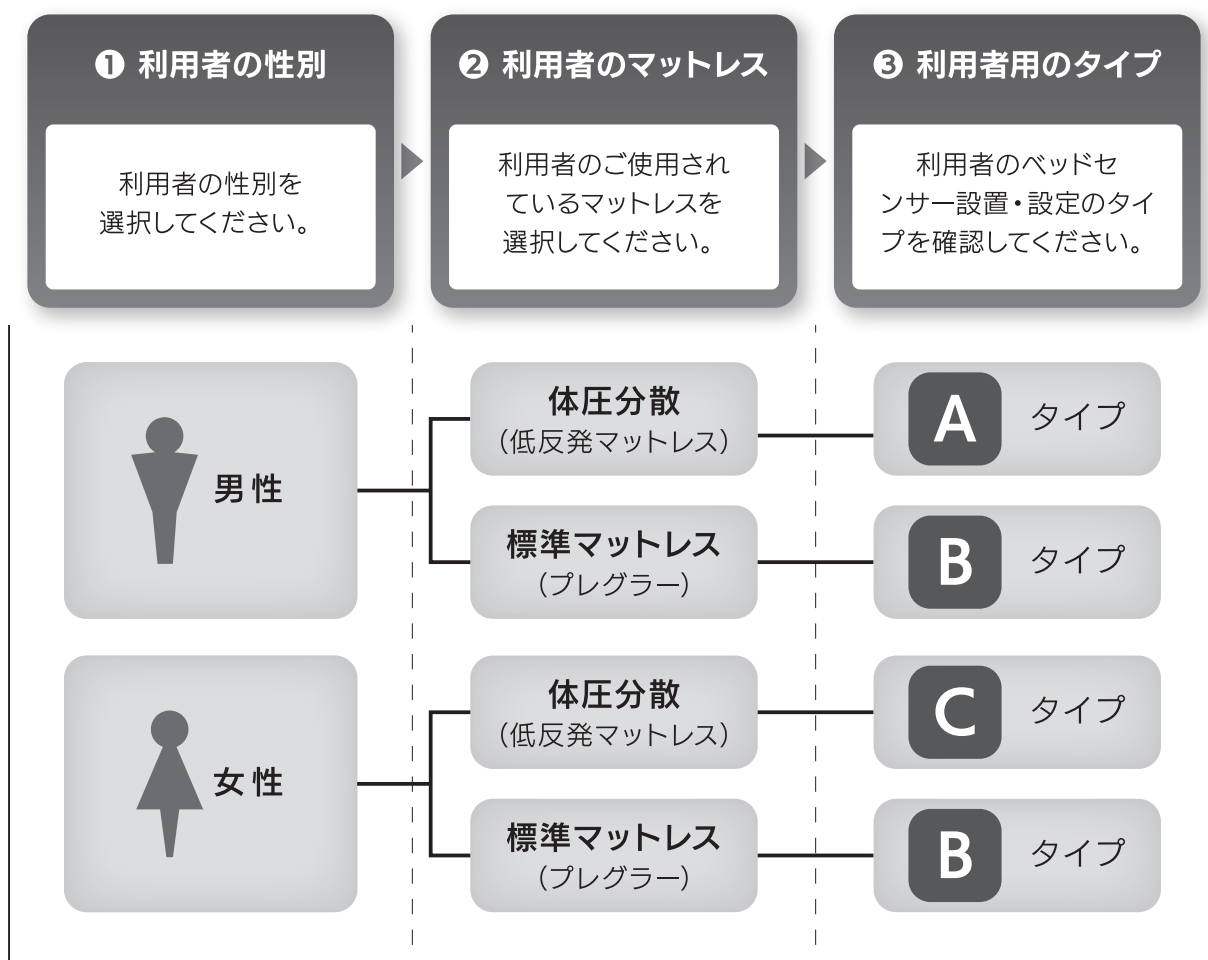
HP <http://web.sanwa-newtec.co.jp/>

# 離床センサーの設置手順書

はじめに、利用者のタイプ診断から行います。

下記の①～③の順に従い、利用者用の設置・設定のタイプをご確認ください。

**A～C**の各タイプに応じたベッドセンサーの設置・設定については、裏面に記載されておりますのでご覧ください。



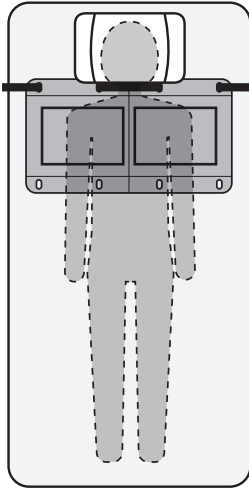
タイプ	設置場所	検知レベル	検出タイマー値
<b>A</b>	肩	軽	3秒以上
<b>B</b>	肩	軽	2秒以上
<b>C</b>	腰	軽	3秒以上

注) 上記のタイプに表記されている設定値は、離床センサーシートの上にシーツのみを設置した場合の目安になります。また、利用者の状態によって正常に作動しない場合は、検出タイマー値を長めに調整し直してください。

# 1

## 離床センサーのシート設置

『肩』の設置場所

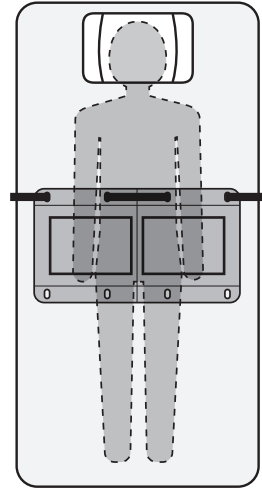


利用者のタイプに応じてシートの設置を行ってください。

『肩』の場合は、枕のすぐ下にシートを設置してください。

『腰』の場合は、利用者がベッドに仰向けの際に、シートの下部が利用者のお尻にくるように設置して下さい。

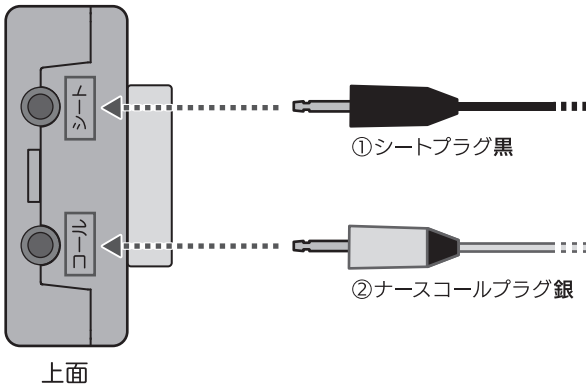
『腰』の設置場所



# 2

## プラグの接続

- ①黒いプラグは『シート』に差し込んでください。
- ②銀のプラグは『コール』に差し込んでください。

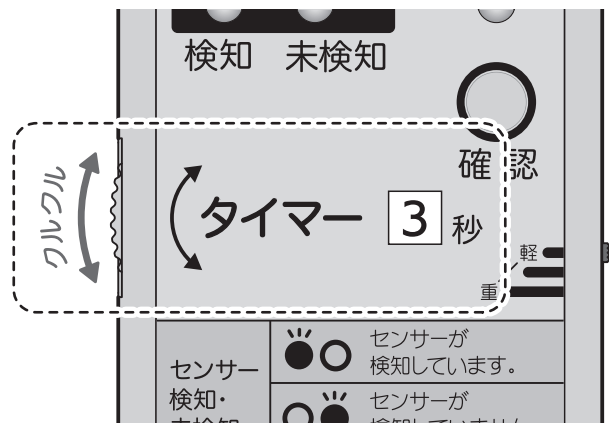


上面

# 3

## 検出タイマーの設定

検出タイマーの時間を設定してください。



# 4

## 検知レベルの設定

検知レベルは、軽・中・重の3つからセンサー感度を調整できます。通常は『軽』をご使用ください。

ご使用中にセンサーの感度が敏感になる場合には以下の①または②の手順に従ってご使用ください。

- ①『軽』にしている場合、『中』に変更してください。
- ②『中』にしている場合、『重』に変更してください。

※①、②で検知レベルの設定を変更した場合は、利用者が離床センサーに乗ると検知すること、離床センサーから離れると未検知になることを必ず確認ください。

